

ちよつと気になる 現代の病気

時代の流れとともに病気の様相も変わってきています。耳慣れない新しい病気が登場するかと思えば、既に過去のものとなっていた病気が再び猛威をふるったりします。今回は、そんな病気を二例紹介します。

原因不明の現代病 慢性疲労症候群

何の原因もないのに、強い疲労感や起きあがれないほどの倦怠感に襲われ、その症状が何か月間も続く、こんな奇病慢性疲労症候群(CFS)が注目されています。

この病気は、それまで元気に働いていた人に突然起こるのが特徴です。風邪やインフルエンザのような発熱、筋肉痛などの症状がでて、それが回復した頃に強い疲労感が始まります。不眠、物忘れ、集中力の低下など心身の症状を伴うことが多く、厚生省では、「こころ」の状態が六か月以上続く場合」をこの病気としています。

患者は都市部のホワイトカラーに多く、また女性が男性の1.5倍になるとか。積極的な治療法はありませんが、個々の症状に対する対症療法が効果をあげています。大

半は一二年で自然に治るので悲観することはありません。ただし、診断がつくまで様々な病気で誤診されたり、また「なまけ病」と見られることが、患者さんにとって一番の悩みの種だということ。決して過去の病気でない

うになり、死亡者は急減しました。患者数も減少を続けていきましたが、八〇年代半ばから減少のスピードが落ち、今でも、毎年五万人以上の新患者が発生しています。最近の結核の特徴は、高齢者の発病が多いことです。若い頃に感染し、高齢になり体力が衰えた頃発病するのです。もう一つの特徴は、重症患者が目立つことです。その理由は、寝汗や咳、体のだるさといった症状があっても、まさか結核とは思わないので受診せず、医師もレントゲンで影があると肺がんを疑い、結核と結びつけないことにあります。また、結核の子防体制の未整備な国からの人の移動が、患者数の押し上げの一因となっています。

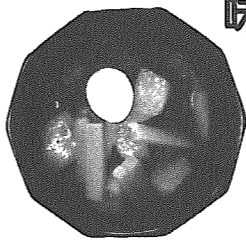
今、死に至る病はと問えば、ほとんどの人が「がん」や「エイズ」と答えるでしょう。同様に、結核は一九五〇年まで日本の死亡原因のトップでした。しかし、抗生物質の普及によりほぼ完治できるよ

結核はいまだ「わが国最大の感染症」ということを忘れず、定期的に健診を受けることが大切です。

手軽でヘルシー 今月の料理コーナー

昨年11月25日、テレビでも活躍中の坪井康雄さんを講師に迎えて「学校給食食肉調理講習会」が開催されました。今回は、その時に作ったメニューの1つをご紹介します。

「牛肉とたけのこの味噌煮」



材料 (6人分)

- ・牛肉角切り..... 200g
- ・こんにやく..... 1枚
- ・たけのこ..... 200g
- ・長ねぎ..... 1本
- ・味噌..... 大4杯
- ・みりん..... 大2杯
- ・パイオン..... 2カップ
- ・生姜..... 1片
- ・砂糖..... 大3杯
- ・サラダ油..... 少々

作り方

- ①牛肉はそのまま、たけのこは乱切り、長ねぎは1cmのぶつ切り、生姜は薄切りにする。こんにやくは塩もみし、手でちぎってから茹でて水気を切る。
- ②鍋に油を入れて生姜と牛肉を炒め、肉の色が変わったら、こんにやくとたけのこを加えて油が全体に回るくらい炒める。パイオンを入れ、初めは強火で煮、アクを取ったら弱火にしてさらに10分くらい煮る。
- ③長ねぎを加え、味噌・砂糖・みりんを混ぜて煮込む。最後に煮汁を材料に煮からめて出来あがり。

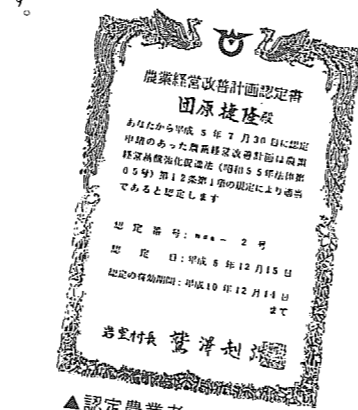
明日の農業を担う経営者を応援します



▲各農家の経営安定を期待し、認定書を手渡す鷺沢村長

これからの岩室村農業の担い手七十三人に認定農業者の認定書を交付し、支援を約束。先月二十日静閑荘で、今後農業経営の拡大を目指す農業経営者ら七十三人に認定農業者の認定書交付式が行われました。

この認定農業者制度は、農地の購入や借り入れにより、経営規模の拡大を目指す人を村が認定することにより、農地の受け手を明確にし、岩室村農業の担い手として支援しようとするもので、この認定を受けるには、これから農業経営の拡大をしようとする人が、村農業委員会に「農業経営規模拡大認定申請書」を提出し、その計画内容が認定基準に適合している場合に認定書が交付されます。そして、この認定農業者の認定をうけると、農地の利用権設定等が行われた場合、特設農家として助成金が交付されたり、各種融資制度で有利な資金の貸付が受けられるなどのメリットがあります。



▲認定農業者一人ひとりに手渡された認定書

ところで、現在村内には平成四年度に認定された認定農業者が五人、そして今年度新たに六十八人の農業経営者が今回認定書の交付を受けました。交付式当日は、今年度認定を受ける農業経営者一人ひとりに、鷺沢村長から激励と期待を込めた認定書が手渡されました。そして来賓として出席した新潟農政事務所長、村農業委員長、JAいわむろ組合長らからも「明日の岩室村農業の担い手として、これからは農業経営にがんばってください」と激励の言葉が贈られていました。なお、この認定農業者制度についてのお問い合わせや申請は、役場農林水産課(☎82-141-11)内線一六二までどうぞ。

厳しい時だからこそ期待したい



■ 團原捷隆さん (西長島・49歳)

昨年の不作、そして米の輸入化など最近の農業情勢はとてつもない時期にきています。こんな厳しい状況乗り越えるため、さらに経営規模の拡大、合理化などを図っていく上でも、今回の認定農業者制度に期待し、また有効に利用できればと思っています。

農業者間の情報交流で新たな農業経営



■ 大岩 稔さん (原・38歳)

農業経営形態も転換期にきているようです。これからの農業経営はやはり規模拡大、経営合理化そして販路の開拓など自分自身の努力が必要となってきましたね。ですから、農業者間での情報交流などを積極的にやりながら新しい農業経営を見出したいですね。

岩室温泉新源泉開湯記念

村民 入湯無料御招待!!

岩室温泉旅館組合では、新源泉の開湯を記念して、下記の要領で村民の皆さんを岩室温泉に無料で御招待します。

- と き... 2月17日(木) 午前11時~午後2時
 - と ころ... 岩室温泉の各旅館
- ※なお後日、新聞折込みで入湯券を配布しますので、ご記入のうえご来館ください。

今月の「おらが村の山野草」シリーズは紙面の都合によりお休みします。次号から引き続き掲載しますのでご愛読ください。

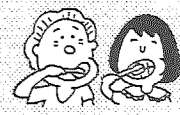
募集 弥彦観光駅長を募集しています

JR新潟支社と弥彦村では、弥彦地域の観光をPRし、一層の誘客を図るため「弥彦観光駅長」を左記により募集しています。

- 応募資格：弥彦村及び周辺町村在住者で未婚の女性
- 応募方法：2月18日までに履歴書を弥彦村役場商工観光課 ☎94-13131まで提出して下さい。
- 契約期間：4月1日~一年間
- 勤務時間：午前8時30分~午後5時15分まで。※なお詳しくは弥彦村役場商工観光課までどうぞ。

歯医者さんが教える...

歯の健康



拔牙時の注意

前日は十分な睡眠をとり、体調の悪いときは延期!

過労気味、睡眠不足、下痢、ひどい便秘など、体調の悪いときに拔牙をすると、神経性ショックなどの不快症状を起こしやすくなります。拔牙の前夜は、遅くまでかかると仕事や接待、宴会などを避け、過労、飲みすぎ、二日酔いにならないようにしましょう。十分に睡眠をとって拔牙にのぞんでいただきます。

(新潟県歯科医師会)



越のまほろば

皆さんでおでかけください

弥彦地区観光連盟(岩室村や弥彦村など八か市町村で構成)の主催で、今月二十七日に「越のまほろば冬まつり」が開催されます。

このイベントは「観光客が少なくなる冬の誘客を図ろう」と行われるもので、当日は「歌謡ショー」や「冬の味覚試食コーナー」など楽しいイベントがたくさんありますので、ぜひ皆さんでおでかけください。

- と き... 2月27日(日)10時~16時
- と ころ... 弥彦村体育館

※詳しくは役場観光課まで